

鎌倉音楽茶論【王のソナタ】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート
バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第七弾！



18世紀、プロイセン

フリードリヒ大王のサンスーシ宮殿には、ベンダ兄弟を始め優れたヴァイオリニストたちが召し抱えられ、宮廷楽長となる名手も現れました。王の御前で演奏され、或いは献呈された華麗な響きを、今回は典雅なヴァージナル（小型のチェンバロ系）とのデュオでお楽しみ頂きます！

演奏曲目 1. H・I・F Biber 8つのソナタ集より第4番

2. F Benda ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ

3. J・S Bach ヴァイオリンとオブリガート・

チェンバロの為のソナタ第2番 BWV1015 他

バロック・ヴァイオリン
ヴァージナル

今 卓也

西 優樹 (YUKI)

でお贈りします

出演者プロフィール

今 卓也：東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事
バロック・ヴァイオリンを小野薫里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事
マルチ分野でのヴァイオリンの演奏活動を展開中
古楽アンサンブル「Ensemble Caelestis」代表

西 優樹：北鎌倉女子学園高校音楽科卒業 フェリス女学院大学、同大学院修士課程
音楽研究科 パイプオルガン専攻修了 在学中から、神奈川フィルと協演
現在は、後進の指導、鍵盤楽器（パイプオルガン、ピアノ、クラヴィコード、
チェンバロ）を中心に各地でコンサート活動、日本を代表するチェロ奏者
安田謙一郎氏との共演等で活躍

「カフェサンスーシ」鎌倉 <http://sanssouci.cafe.coocan.jp/>